

ご当地鍋18種、日本酒100種超が大集結！鍋×酒×エンタメ体験の3拍子！

『酒処 鍋小屋 2026 supported by ダイショー』が

横浜赤レンガ倉庫にて1月17日（土）より開催！

イベントテーマは「宴 -utage-」でエンタメ力が過去最高にパワーアップ！

全国鍋総選挙、お笑いライブ、縁日等で、大人も子供もワクワクする“ハレの日”に

横浜赤レンガ倉庫では、2026年1月17日（土）～2月1日（日）の計16日間、横浜赤レンガ倉庫イベント広場にて『酒処 鍋小屋 2026 supported by ダイショー』を開催します。



『酒処 鍋小屋 2026』キービジュアル

本イベントは、寒さが厳しい冬の季節に横浜赤レンガ倉庫と海が見える開放的な空間で熱々の鍋を囲み、お客様同士の交友を深めていただきたいという想いから生まれたフードフェスティバルです。昨年は約24万人※1の方にご来場いただいた横浜赤レンガ倉庫の冬の恒例イベントのひとつです。18種の日本全国のご当地鍋と100種超の全国選りすぐりの日本酒をメインに、多様なコンテンツで老若男女あらゆる世代の皆様にそれぞれのスタイルでお楽しみいただいています。

※1 横浜赤レンガ倉庫1・2号館来館者数より算出

2016年の初開催から10回目となる今年のイベントテーマは「宴 -utage-」です。食べて飲むだけのフードフェスティバルではなく、来場者参加型の「全国鍋総選挙」や、お笑いライブ、企業対抗カラオケ大会などの見て楽しい“ステージコンテンツ”、おでんや焼き鳥など日本のグルメをライブ感溢れる屋台で楽しむ「屋台」ブース、昔懐かしい「縁日」ブースなど、“ハレの日”的な大人も子供もワクワクするエンタメ体験が目白押し。国籍・世代問わず皆様で盛り上がる楽しいひとときをお過ごしください。

今年は、横浜にゆかりのあるイラストレーター五月女ケイ子氏に本イベントのノスタルジックな世界観に合わせてキービジュアルを制作いただきました。人それぞれの“ハレの日”的な様子を描いた温かいイラストが、イベントの楽しさを一層引き立てます。

＜会場の見どころ＞

■本イベントの目玉、全国各地の18種の“ご当地鍋”と100種超の“日本酒”が一挙に集結！

今年初開催、「全国鍋総選挙」で来場者の“推し鍋”No.1が決まる

寒い冬には欠かせない鍋料理は各地の特色を持ち、“ご当地グルメ”としても人気を集めます。本イベントでは、全国から集まった個性豊かな鍋を一杯サイズで食べ比べできるスタイルでご提供。鍋にぴったりの選りすぐりの“日本酒”とともに、思う存分冬の味覚をお楽しみいただけます。さらに今年は、来場者の皆さまの投票で“お家でも食べたいご当地鍋”を決定する「全国鍋総選挙」をイベント内で初開催します。



「全国鍋総選挙」ロゴイメージ

■イベントテーマは「宴 -utage-」。例年に増して“エンタメ力”がパワーアップ！

今年のイベントテーマ「宴 -utage-」の名の通り、今年は食とともに楽しむライブ感溢れるエンタメ体験が目白押し。会場そのものにも、どこか懐かしいレトロでノスタルジックな雰囲気が漂い、エンタメ要素が満載。タイムスリップしたよう感觉でお過ごしいただけます。



会場イメージ



フード・ドリンクイメージ



「縁日」イメージ

●ステージコンテンツ

鍋やお酒と一緒に楽しめるステージコンテンツを昨年よりさらに拡充して実施します。お笑いライブのほか、昨年初開催し会場を盛り上げた「企業対抗カラオケ大会」も日にち限定で開催します。

●縁日

毎年好評の縁日ブースが今年は更に拡大！お祭りの屋台で楽しむような“屋台ゲーム”、昔懐かしいアーケードゲームなどを設置し、大人も子供も一緒に楽しめます。

●屋台

昨年初開催した大型テント内の屋台ブースは、更に屋台らしい設えにアップデート！「おでん」「焼き鳥」など、日本らしいグルメの調理が目の前で繰り広げられる“ライブ感”がポイント。鍋以外の食もお楽しみいただけます。

●全国鍋総選挙

来場者の皆さまに、“お家でも食べたいご当地鍋”を選んで投票をしていただきます。イベント開催以来初となる“推し鍋No.1”的栄冠は果たしてどの鍋に…？

■日本人が古くから愛する冬の伝統家電「こたつ」等、充実の“あったかスポット”

屋内会場となる大型テント内の座席にはヒーターを設置するほか、日本でお馴染みの「こたつ」も登場。「作る鍋」エリアは、小上がりになった置の座敷でこたつに入り、自分で熱々の鍋を作ることができる体験型エリアとなっています。



過去開催の様子

＜開催概要＞

- ・期 間：2026年1月17日（土）～2月1日（日） 計16日間 ※雨天決行、荒天時は休業することがあります。
- ・会 場：横浜赤レンガ倉庫イベント広場（〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港1-1）
- ・営業時間：平日 12:00～21:00（L.O. 20:30）
土日 11:00～21:00（L.O. 20:30）
- ・入 場 料：無料 ※飲食・物販代等は別途
- ・主 催：横浜赤レンガ倉庫（株式会社横浜赤レンガ・公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
- ・特別協賛：株式会社ダイショー
- ・後 援：横浜市
- ・協 力：株式会社エクシング
- ・特設サイト：<https://www.yokohama-akarenga.jp/brickjournal/detail/168>

＜SDGsへの取り組み＞

『酒処 鍋小屋 2026 supported by ダイショー』では、SDGsへの取り組みを積極的に行なっています。

◎プラスチック製品の削減：

会場内の全店舗で環境に配慮した食器や包装材を使用し、プラスチック削減に取り組みます。



サステナビリティコンセプト ロゴ

◎GTL 燃料：

会場内の発電機の燃料は天然ガスから精製された GTL 燃料（軽油代替燃料）で、従来の軽油を使用した場合より CO2 を約 8.5% 削減。

◎Fry to Fly Project：

国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「Fry to Fly Project」に協力。イベントで出た廃食用油を持続可能な航空燃料製造に提供。従来の航空燃料に比べ、CO2 排出量を約 80% 削減できます。

◎再生可能エネルギーの地産地消：

脱炭素化の実現に向けた再エネ普及拡大の一環として、横浜市内の家庭に設置されている太陽光発電設備の余剰電力（卒FIT）を活用した取り組みを推進。イベントを含む、横浜赤レンガ倉庫で使用する電力の約 2 割相当を賄い、年間約 440 トンの CO2 排出量を削減できる見込みです。

※【注意】本リリースに記載されている内容は、変更となる可能性がございます。12月中旬頃に詳細を発表予定です。

※画像はイメージです。一部、過去のイベントの様子が分かる画像を使用しています。

＜本件に関するメディア向けのお問い合わせ先＞

横浜赤レンガ倉庫 PR 事務局（㈱プラチナム内）担当：本間・白駒・岡本・菅野・福田
Tel : 03-5572-6072 FAX : 03-5572-6075 Email: akarenga_pr@vectorinc.co.jp

＜本件に関する一般向けのお問い合わせ先＞

横浜赤レンガ倉庫 2号館インフォメーション 電話：045-227-2002（代）※受付時間：11:00～20:00